

第二十六回松山市観光俳句ポスト

第二十六回開函

「櫟」 主宰 阪本 謙二 選

特選三句

晩学の日々新たなり若葉萌ゆ

群馬県邑楽郡 斎藤 功

子規堂の小さき机緑さす

福岡県筑紫郡 高山 ひさ子

一草庵もうすぐですと道をしへ

愛媛県西条市 和田 正

入選二十句

今といふときを大事に冷奴

兵庫県川西市 浅田 康主

露天湯に肩まで浸り蝶を待つ

愛媛県宇和島市 井上 泰文

涼しげに伊予かすり着てもてなされ

兵庫県神戸市 小河原 宏子

夾竹桃ぼつぼつ咲いて雨三日

徳島県徳島市 佐野 久子

湯あがりにからだに染みるどくだみ茶

兵庫県三木市 嶋田 真希子

柿若葉累々つづく瓦屋根

東京都青梅市 関根 康子

鯛めしが思っていたのところがいます

東京都世田谷区 遠矢 純一郎

りんの音の田水に響くへんろかな

東京都町田市 佛淵 健悟

山の上まで蜜柑山五月雨るる

新潟県長岡市 松井 広宇

初桜見渡してゐる城下かな

愛知県瀬戸市 松原 忠子

石垣に赤く色づく萼かな

兵庫県神戸市 村上 浩之

母の日の母の夜勤を見送れる

高知県高知市 森脇 杏花

藤棚に横顔ばかりちらつけり

東京都新宿区 山崎 聡子

水張りし棚田に遍路映しおり

福岡県古賀市 吉住 敦子

新緑や石垣走る城の猫

京都府京都市 吉田 美鈴

(市内)

城山を鎧でかざる樟若葉

愛媛県松山市 角田 清晴

学び舎はまな裏にあり天高し

愛媛県松山市 源 のぶ子

見下ろせば新樹広がる天守閣

愛媛県松山市 山田 幸子

(十五歳以下)

天守閣銃眼口の菖蒲かな

福岡県北九州市 上月 映里佳

蚕豆を公園がえりにみつけた

愛媛県松山市 田口 優

投句総数

一四二五

市外

一一八一

市内

二四四

投句者総数

八三四

市外

七七三

市内

六一

開函日 平成二十五年五月三十一日